

令和 5 年度
第 3 回長浜市都市計画審議会
会 議 録

長浜市都市計画審議会

令和5年度第3回長浜市都市計画審議会 会議録

- 日 時 令和6年2月13日（火）
10時00分から11時05分まで
- 場 所 長浜市役所3階 災害対策事務局室
- 出席委員 9人
（敬称略） 会長 及川清昭
1号委員 井上晃一、押谷小助、金子尚志、廣部重嗣、松原智子
2号委員 鬼頭明男、杉本英一
3号委員 中辻克明
- 欠席委員 3人
（敬称略） 1号委員 岡井有佳、北川雅英
3号委員 荒木まつゑ
- 事務局 7人
長浜市都市建設部 嶋田部長、益田課長、田中係長、松橋主査
湖北広域行政センター 業務課 峯主幹
施設整備課 樋口課長代理、富岡主査
- 報告事項 報告事項1
・都市計画マスタープランの改定および立地適正化計画の策定に係る
市民アンケート調査の実施結果について
報告事項2
・長浜北部都市計画火葬場（木之本町火葬場）の変更について
報告事項3
・長浜市景観まちづくり計画の改定について
- 配布資料 ・次第
・資料1 : 長浜市都市計画審議会委員名簿
・資料2 : 長浜市都市計画審議会条例
・資料3 : 会議の公開について
・資料4－1 : 市民アンケート調査の実施結果
・資料4－1－1 : 市民アンケート調査単純集計

- ・資料４－１－２：市民アンケート調査地域別集計
- ・資料４－１－３：市民アンケート調査年齢別集計
- ・資料４－１－４：中高生アンケート調査単純集計
- ・資料４－２：木之本町火葬場の廃止
- ・資料４－３：長浜市景観まちづくり計画の改定
- ・資料４－３－１：長浜市景観まちづくり計画（素案）

○会 議 録

１ 開会

２ あいさつ

事務局（省略）

３ 資料確認

４ 会議の成立について

５ 議事録の公開について

６ 報告事項

●都市計画マスタープランの改定および立地適正化計画の策定に係る市民アンケート調査の実施結果について

（事務局）

- ・資料４－１に基づき説明（省略）

（会長）

- ・ご意見、ご質問はないか。

（委員）

- ・資料４－１－４の問１８について。「お住まいの地域の中心」とはどこを指したもののなのか。

（事務局）

- ・問１６、１７を踏まえた質問項目。そこで回答いただいたご自身の思う「長浜の中心」「お住まいの地域の中心」を指す。

（委員）

- ・現在、滋賀県全体では人口増加の傾向にあるものの、長浜市全体、特に旧伊香郡や旧東浅井郡などの北部では毎年１，０００人単位で人口が減少している。今回のアンケート結果から、若い世代では「長浜市の中心に都市機能を集めるべき」と考え

ている割合が多いことがわかるが、この方向性では余計に北部が衰退していつてしまうのではと思ってしまう。

- ・若い世代の意見もわかるが、総合的に都市計画を考えてほしい。このアンケートだけで方向性が決まってしまうわけではないだろうが、旧長浜にだけに中心を作って活性化を目指すのではなく、北部と旧長浜の2か所で中心を作ってほしい。

(事務局)

- ・おっしゃる通り。南部だけをもってして長浜というものではない。北部も一体として、バランスをみて策定を進める。また、北部の活性化という点で言えば、現在特定用途制限地域の制限緩和も進めている。これらも含めて、長浜市全体の都市計画を考えていきたいと思う。

(委員)

- ・資料4-1-1の問2を見ると、10代・20代といった若い世代の回答率が低い。若い世代では「長浜市の中心に都市機能を集めるべき」と考えている割合が多いという分析をされていたが、そもそも10代は回答率が1%ということを見ると、この結果を重視するのは厳しいのではないか。
- ・若者が市外や県外へ行き、高齢者が住まいから動かず、もしくは、北から南へと移り住む現状を抜本的に変える施策が今の長浜市には必要。もちろん簡単なことではないと思うが、全国では、田舎でも子育てや観光に力を入れて、人を呼び込んでいる村や町がある。長浜市もそういった事例を学ぶべきでは。

(事務局)

- ・おっしゃる通りではあるが根本的な対策や答えをすぐに見つけるのは難しい。若い世代の意見ということであれば、今回は説明を省略したが、資料4-1-4の中高生アンケートでは多くの回答があり、若い世代の意見を得ることができた。
- ・中高生アンケートでは、都市機能の集約に関して問13から都市機能を集約すべきと考える人が31%いたが、旧長浜市の学生が多いことを考慮し、今後の対策を検討すべきだと考える。
- ・同アンケートの問5で市外や県外へ行きたいという回答者は28%ほどいたのだが、この28%の中高生が何を他市・他県に求めているかというところ「買い物など日常生活が便利なところ」や「働きたいと思える場所があること」、「公共交通（バスや鉄道など）が便利なところ」だということがわかった。公共交通など我々だけで対策することが難しいものもあるが、魅力的な企業が多くあることを積極的に情報発信していくなどして対策していきたい。

(委員)

- ・中高生アンケートの問7について。公共交通に関しては、中高生がどのような公共交通を必要としているのかをより直接的に問いかけてみることも今後必要になっ

てくると思う。例えば、朝の通学にバスを使いたいという意見があるのであれば、電車などの接続も考えて対応するという対策もできる。

- ・「なぜ別の場所に住みたいのか」という理由はより深く追求してほしいと思う。
- ・自家用車だけではなく、公共交通も良いものだと呼びかけてほしい。

(事務局)

- ・今回のアンケートではそこまでは考察できていないため、今後機会を見つけて検討していきたい。

(委員)

- ・資料４－１について。p.2にて「都市計画マスタープランで既存の病院を利用しやすくなる土地利用方針を検討」とあるが、この書き方だと病院だけに特化した土地利用方針にするというように思えるが。

(事務局)

- ・資料としてそのような書き方になってしまっているが、決してそうではない。今回のアンケートの結果を踏まえて、病院や診療所などの医療施設の充実が今後必要であるということ为例のひとつとして挙げたもの。紛らわしい書き方になってしまい申し訳ない。

(委員)

- ・資料４－１－４の問５について。市外や県外へ行きたいという中高生への対策を重視されていたが、どちらかと言えば「現在の場所に住み続けるかわからない」と答えた４２％に注目すべき。「わからない」と答えた中高生にこそ可能性があるのでは。「わからない」を「長浜市内に住みたい」へ変えるのが重要だと思う。
- ・資料４－１－１の問１５について。長浜市の人口減少が進む中でどのような取り組みが必要かという問いに対して「医療・福祉の充実」、「子育て環境の充実」との回答が多い点に注目されているが、私は回答の中で５番目に多い「地域コミュニティで支え合える環境づくり」に注目すべきかと思う。これは、地域住民自身が自主的に関与し、支え合う仕組みを構築しようとする意思があることを示しているのでは。こういったところにも視点を向けてほしい。

(事務局)

- ・「わからない」と答えた回答の分析はこれからしていきたい。
- ・地域コミュニティの項目については、多くの回答があったことを他課とも共有して対策を図りたい。

(会長)

- ・ご意見、ご質問はないか。＜意見・質問無し＞
- ・このアンケート結果を踏まえながら、都市計画マスタープラン・立地適正化計画に反映してほしい。
- ・市民の意見を反映することも大事だが、施策のあり方も重要。バランス考えながら

引き続き進めてほしい。

●長浜北部都市計画火葬場（木之本町火葬場）の変更について
（事務局）

- ・資料４－２に基づき説明（省略）

<意見・質問無し>

●長浜市景観まちづくり計画の改定について
（事務局）

- ・資料４－３に基づき説明（省略）

<意見・質問無し>

９ その他

（事務局）

- ・特定用途制限地域の制限緩和について。外部機関との協議に想定以上の時間がかかってしまい、現在スケジュールに遅れが生じている。今後のスケジュールとしては、３月５日から縦覧を行い、４月に審議会へ付議を行う予定。改めて３月下旬に審議会の日程調整をさせていただく。

１０ 閉会あいさつ

事務局（省略）